



学校だより

# 雪小っ子

NO. 42

西海市立雪浦小学校

校長 浅田 眞理

平成28年11月15日 発行

## 平成28年度 奥の細道むすびの地「大垣」 芭蕉蛤塚忌（こうちょうぎ）全国俳句大会結果 【続編】

学校だよりNo.37・40にて、標記俳句大会の受賞者及び作品についてお知らせしていましたが、後日わかった「努力賞」受賞者の作品がこのたびわかりましたのでお知らせ致します。この大会には、『春』・『梅雨』を詠った作品を出品しました。

【 小学校の部 】 応募投句数 22, 924句 投句者数 12, 454名  
※ 本校から34名が投句，そのうち13名が受賞

|    |             |                      |                     |
|----|-------------|----------------------|---------------------|
| 特選 | 32句中本校より2名  | 1年 浦里 望愛             | 4年 武宮 慧             |
| 入選 | 54句中本校より1名  | 4年 田平 聖華             |                     |
| 佳作 | 124句中本校より4名 | 1年 田平 舞羽<br>3年 松下 恋百 | 3年 小橋凜太郎<br>6年 川口 倫 |

努力賞 ? 句 ※ 何句選句されたかは不明。本校より6名が受賞



|       |            |       |          |
|-------|------------|-------|----------|
| ほたるがり | 小さいほしが     | キラキラリ | 2年 平松 吉大 |
| あじさいに | ピッチャンピッチャン | 雨しぶき  | 2年 中沼 美波 |
| あじさいの | しずくの音に     | 耳すます  | 4年 林田 玲実 |
| 梅雨の空  | ぼくの心は      | 青い空   | 5年 伊藤 優哉 |
| かたつむり | 「もーいーよー」と  | かくれんぼ | 6年 浦里 知愛 |
| 1年生   | ぼくがお世話を    | するからね | 6年 草野 匠  |



※ 学校だよりNo.39でお知らせの『秋』を詠った俳句は、長野県上水内郡信濃町にある一茶記念館が募集している『小林一茶 第16回全国小中学生俳句大会』に出品したところです。（結果は、平成29年2月頃）また、9月に読んだ『夏』の俳句は、すでに『第18回NHK全国短歌俳句大会ジュニアの部』に出品中です。（結果は、1月下旬予定）今年度は、とにかく外部の俳句大会に出品し、言葉の力・表現力を磨いている子供たちです。

### 児童集会（図書委員会）

15日（水）の児童集会は図書委員会担当。雪浦小読書月間にちなんで、創作劇や多読賞の表彰等で読書の啓発活動を行いました。

創作劇は、「桃太郎」の話をアレンジした、読書ので悪い鬼をやっつけるというとても面白いストーリーの劇でした。委員会の子供たちはこれまで主体的に練習を行って今日の集会に臨んだのですが、その甲斐あって、見ている側をととても引きつけた発表となりました。

表現力を高める子供たちに大きな拍手です。



### 先日の学校保健委員会、伊藤先生の講演から

- 児童期は、運動・食事・睡眠でストレスに負けない身体を作ること、リズムが大切である。
- 人間はどこかのグループに属したいと考えがちである。その一番の基本が家庭。ベースは家庭である。
- 我が子なりにがんばったことを他者と比較せず褒めることは大事である。
- 高学年期は身も心も変化が大で、不安定。人間は不安定になると甘えなくなる。（赤ちゃん返り）
- （常に誰かと結びついていないと不安）だから、思春期に身に付ける基本的で大切な能力はひとりていられる能力である。
- 思春期を乗り切る心の筋トレとして、子どものうちに我慢の貯金をいっぱいすることが大事。親はそれを優しく見守る。
- 陰性感情（悔しい・悲しい・辛い・・・）は受け止めてやらないと貯まる。1度受け止めてもらおうと、その後はぐんと減る。
- 躰のポイントは『傍で・目を見て・はっきり・短く・わかりやすく』親のイライラをコントロールしてから伝える。
- ご褒美の言葉で、子どもはもっと行動できるようになる。
- 親子の出会いはミラクル（奇跡）と思ってほしい。子供たちの笑顔はご褒美である。子育てに失敗はない。すべて学び。
- 辛くなったらひとりで悩まず、周りの人に相談しよう！

素直で礼儀正しい子（徳）たくましく学び合う子（知）明るく元気な子（体）